

令和5年度 活動報告

《地域おこし協力隊活動テーマ》

極寒天国（しばれすとパラダイス）・藪川地域をもっと稼げる地域に！

2024年4月26日

盛岡市地域おこし協力隊 産業振興課所属
藪川地区担当 佐々木 亨

令和4年度の振り返り

「まず地域を知る」ということで歴史・現在・将来の3つの視点で様々な情報収集を行いました

- 自治会長さんや地元をよく知る方々、大学教授などにヒアリング、独自取材（WEBアンケート、空き家実態調査）などを実施。
- 他の自治体（福島県飯舘村、山梨県小菅村、岩泉町）の活性化好事例を取材、地域創生のセミナー、シンポジウムに出席。
- 企業へのアプローチ（日立造船、JR東日本スタートアップ、日本郵便、ファミリーマート等）。

歴史

- 縄文時代・文化
- 塩の道
- 外山御料牧場
- 遷都計画

：

現在

- 岩洞湖家族旅行村
- 特産品・農産品
- 体験イベント
- 漁協

：

将来

- ITインフラ
- 移住促進
- 企業へのアプローチ
- 活性化事例研究

：



令和5年度（2年目）の主な活動



令和5年度の活動に向けてまず行ったこと

令和5年度薮川長寿大学開講式（4/27）で講演

- 薮川長寿大学は、変化の著しい現代社会に適応できる知識や技術の学習、社会活動への参加の促進によって、心身ともに豊かで健康な生きがいのある人生を営むことができるよう支援するために開設。
- 大学の入学資格は60歳以上の薮川地区民で、1講座2時間を基本に年間で7講座開設（諸制度、趣味、教養、スポーツ等）
- 令和5年度の開講式参加者は高齢者学生21名、来賓6名、事務局2名、講師1名（小職）の計30名。
- R4年度の協力隊の活動内容についての報告、及びその後の懇親会で意見交換を実施。



歴史 ～外山御料牧場の牧場遺産をどう伝えていくか～

令和4年度からの活動の総括として、近代牧場の礎「下総御料牧場」を振り返るシンポジウムに出席

- 7月17日に成田市文化芸術センターで行われたシンポジウムに出席。テーマは「牧場遺産の継承に向けて今できること」。
- 下総御料牧場シンポジウム実行委員会主催、成田市、富里市等が後援。パネリストとして小岩井農場資料館館長も出席。
- 農牧文化を容れながら近代化していった国の足跡としての歴史的評価や、日本では稀な牧場を中心とした地域経済の成り立ち、牧場を通じた皇室文化と地域の関わり、牧場と街が一体となった郷土の風景など、様々な役割を果たしてきた牧場の歴史的価値の風化を回避し、残された牧場遺産を明日の社会にどう活かしていくべきかを話し合うシンポジウム（外山御料牧場もその一つ）。



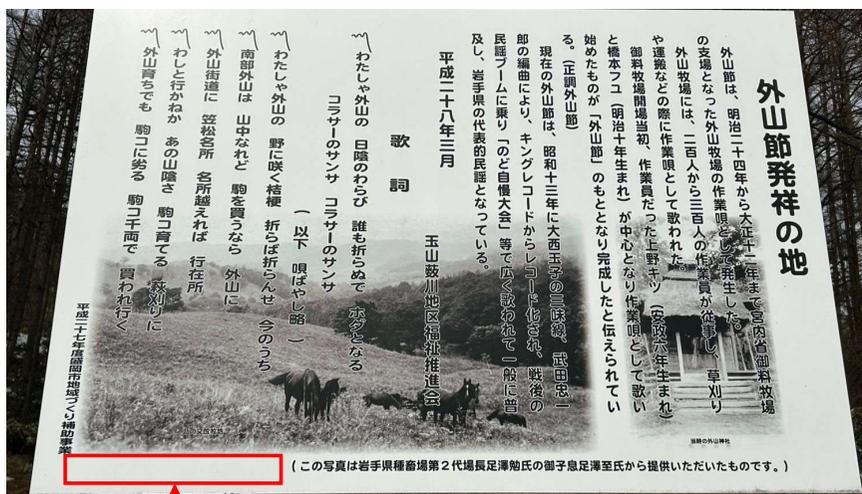
富里市にある末廣農場では、岩崎家を通じて縁の深い小岩井農場を常時紹介



歴史 ～外山御料牧場の牧場遺産をどう伝えていくか～

地元の方からの要望も踏まえ、外山神社来訪者への「外山節」のPRを検討

- 岩手県のみならず日本を代表する民謡のひとつ「外山節」の発祥の地であるこの外山で、**牧場の作業唄であった「外山節」とともに** 当時に想いを馳せ、**外山の歴史や暮らしを知る良い機会とすることが目的。**
- **外山神社来訪者向けに「外山節」に触れていただく機会を創出するため、音源をQRコード化、既存の「外山節発祥の地」の看板に** ステッカーとして貼付、スマホで読み込むことで「外山節」が流れる仕組みを検討（他の場所にも展開が容易）。
- 外山自治会の役員の皆さまからも賛同が得られ、**令和6年度の実施に向けて予算化を検討中。**



QRコード付ステッカーを貼付



《ステッカーの記載例》



QRコードを読み込んでいただくと〇〇〇〇が唄う「外山節」をお楽しみいただけます

現在 ～岩洞湖家族旅行村をより魅力的な施設にするために～

岩手県に対し施設の改善提案

- WEBアンケート、現場ヒアリングなどをもとに、岩手県商工労働観光部 観光・プロモーション室に「魅力向上のための改善検討事項」として報告書をまとめ、令和6年度の予算要求に向けて提案。

**岩洞湖家族旅行村
魅力向上のための改善検討事項**

- 令和4年度利用者WEBアンケート等に基づく -

令和5年6月14日
盛岡市地域おこし協力隊
佐々木 亨
(産業振興課所属 藪川地域担当)

現在 ～岩洞湖家族旅行村をより魅力的な施設にするために～

岩手県に対し施設の改善提案

● 令和6年度予算要求に向け、協力会社と共に現地調査を行い見積もりを作成し提出。最終的に次の6項目について、令和6年度の修繕実施予算に組み込んでいただくことができました。（他施設と合同予算のため、危険性等で修繕の優先順位変更の可能性は有）

- ①木の遊歩道の破損箇所修繕（通行不能箇所2カ所の修繕と、他危険箇所の応急修繕を含め）
- ②案内看板修繕
- ③チビッコ広場の遊具保守・点検、破損・劣化箇所の修繕
- ④濾過機取水修繕
- ⑤濾過器バッテリー交換
- ⑥サニタリーハウス内シャワーカーテンの交換（黒ガビについて利用者から指摘有）



現在 ～岩洞湖家族旅行村をより魅力的な施設にするために～

注目の民間キャンプ場/屋外複合施設を視察 -スノーピーク陸前高田キャンプフィールド-

- 前身は「岩手県立陸前高田オートキャンプ場モビリア」。震災後は仮設住宅地として利用されていた場所。
- 10年が経過し仮設住宅地としての一定の役割を終えたことから、岩手県が同キャンプ場の運営再開を計画。
- アウトドア用品のトップブランド「(株)スノーピーク」が指定管理者及び設計・施工者に特定され、2023年9月23日オープン。
- オートサイトに加え住箱、フリーサイト、ドッグランサイト、キャンプ用品&アパレル等、多様なニーズに対応した施設。
- 岩洞湖家族旅行村のご担当者職員とともに視察。



現在 ～岩洞湖家族旅行村をより魅力的な施設にするために～

注目の民間キャンプ場/屋外複合施設を視察 -the campus (北上) -

- (株)近藤設備の事業体として別会社の形態で運営、昨年より準備の整った施設・サービスから順次営業開始。
- the campusのコンセプトは「つながる森」。実際に体験しながらこれからの豊かさを考え「未来を創り上げていくための実験の場」。
- 民間で初めて（かつ岩手県で初めて）「the campus 縄文の森コース」がクアオルト健康ウォーキングコースの認定を受けている。
- 屋外キャンプ場、宿泊施設、サウナ、カフェ&レストラン、BBQ テントハウス、炊事棟などを備え、落語、フェスなど様々なイベントを開催。
- 岩洞湖家族旅行村、外山森林公園のご担当者職員とともに視察。



現在 ～ 菟川地域を地元と一緒に盛り上げるために～

- 外山・菟川・早坂 - そばスタンプラリーの継続に向けて

- 令和5年度、「外山早坂高原県立自然公園協会（事務局：岩泉町経済観光交流課）」が、協会予算の有効活用がきっかけで、主催となり初開催。
- 参加店舗（8店舗）は、このようなイベントが地元になかったこと、イベント期間中の集客効果もあり、**継続可能なら是非また参加したいとの意向**。
- 令和6年度以降、協会事務局が盛岡市に移り、同協会として改めて新事業として開催する予定はないことから、このままでは残念ながら単年度のイベントで終了。



- 飲食店の利用促進、観光客の周遊、及び外山・菟川・早坂に至るR455沿いの地域経済の活性化が期待できることから、**令和6年度の継続実施に向けてまずは協力隊の活動費で実施費用を予算化**。
- 運営についてはその後産業振興課と検討のうえ、「**岩洞湖まつり実行委員会**」を主催とし、**令和7年度以降も継続イベントにできるよう、鋭意調整中**。

外山・菟川・早坂エリア
SOBA
そばスタンプラリー
 開催期間 2023年 8/1～10/31

南部の食を支えてきた蕎麦、中でも国道455号沿いの盛岡市菟川地区は、内房指の蕎麦の生産地であり、この地区伝統の蕎麦を提供する店も多い。太くて、コシが強く、風味も豊か。まさに、「南部のそば」の「蕎麦街道」でもあります。

参加方法

- ①各店舗でそばを含む500円以上の飲食をすることで、1人1スタンプを獲得できます。
- ②同一店舗でのスタンプは1つまで。
- ③スタンプカードは各店舗にあります。

● 盛岡市早坂 早坂高原白樺荘 (VQRコード)

● 盛岡市菟川西側 國本商店 (VQRコード)

● 盛岡市菟川西側 岩洞湖レストハウス (VQRコード)

● 盛岡市菟川西側 ばっちゃん亭 (VQRコード)

● 盛岡市菟川西側 まほら岩手こもれび館 (VQRコード)

● 盛岡市菟川外山 菟川そば (VQRコード)

● 盛岡市菟川外山 外山ドライブイン (VQRコード)

● 盛岡市菟川外山 外山老そば (外山森林公園) (VQRコード)

● 外山・菟川・早坂エリア SOBA MAP (VQRコード)

景品交換について
 スタンプ4つで 協会オリジナルマクカップ、または各店舗の景品とちからあ1つと交換できます。
 スタンプ8つで 協会オリジナルサーモステンレスボトルの景品と交換できます。

● 主催：外山早坂高原県立自然公園協会 ● お問い合わせ：(関係各事務局)岩泉町経済観光交流課 TEL:0194-22-2111(内線554)

将来 ～蕨川地域の住民と来訪者の利便性向上のために～

ファミリーマート商品取扱い郵便局を視察

- 2021年10月に、**利便性向上、地域への貢献に向けて**開始したファミリーマートと日本郵便の新たな取り組み「ファミリーマート商品取扱い郵便局」を視察するために茨城県「柴崎郵便局」を訪問。



取扱局となっている茨城県「柴崎郵便局」



郵便局ロビーの一角をコーナー化

将来 ～藪川地域の住民と来訪者の利便性向上のために～

「ソーシャル・ロジスティクス」の好事例、鳥取県大山町の町営デマンドバスによる「貨客混載運行」を視察

- 中山間地域の交通インフラの確保・継続を目指し、令和3年に佐川急便と連携して町営デマンドバスによる貨客混載運行を開始。
- 運営は、大山町役場、佐川急便、日興タクシーの三者契約により実施。《大山町》利用客減少による住民の移動手手段の継続維持、《佐川急便》ドライバーの人員配置・配車の効率化、配送時間の短縮、《日興タクシー》貨物収入純増による事業収益増、がメリット。
- 行政と民間が協力し連携することで、地域交通インフラのさまざまな課題を解決できる可能性が広がる。



荷物の載せ替えは日興タクシー従業員が行う（佐川急便Eフォーム着用）



町営デマンドバスは計5台。大山町から日興タクシーに業務委託し運行

将来 ～藪川地域の住民と来訪者の利便性向上のために～

「ファミリーマート+COOP七ヶ宿店」を視察

- 「ファミリーマート+COOP七ヶ宿店」は、七ヶ宿町とみやぎ生活協同組合、(株)ファミリーマートとの3者による、宮城県では初めてのコンビニ体型店舗のミニスーパーとして2017年4月にオープンした（七ヶ宿町は宮城県で唯一スーパーやコンビニが無かった町）。
- 女性層及び若者世代から要望の強かった「ミニスーパー」の設置が、若者の移住定住を実現するまちづくりに直結すると町の判断。
- 店舗の整備費用は七ヶ宿町が負担、運営はみやぎ生協の子会社がファミリーマートのフランチャイジー（加盟店）として実施。

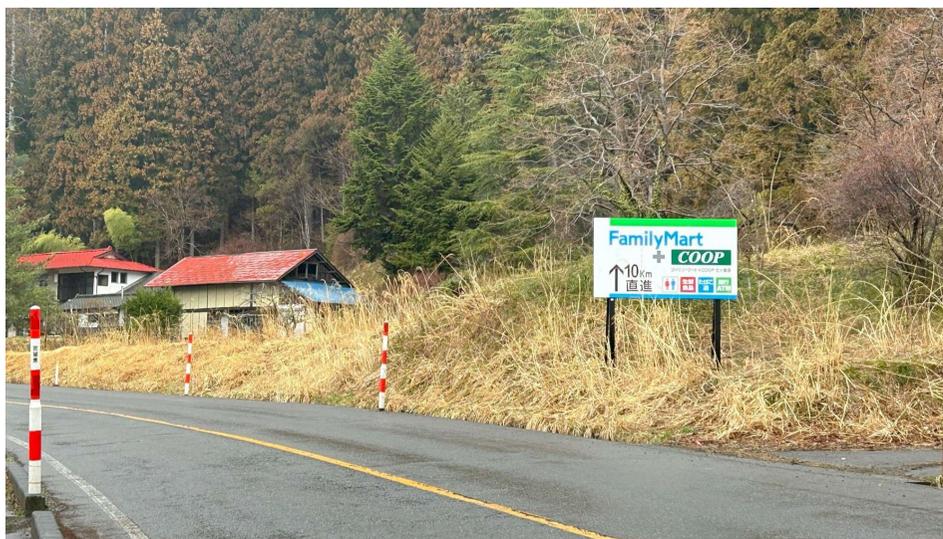


店舗の外観（左）と内観（右）。日常的な買物のために都度隣接市町に行かなくて済むため住民に大変好評。若者の雇用にも一役買っている。

将来 ～藪川地域の住民と来訪者の利便性向上のために～

「ファミリーマート+COOP七ヶ宿店」のある七ヶ宿町はどんな所？

- 福島県と山形県に接する宮城県南西端に位置し、総人口は1,225人（令和5年12月末現在）と県内で1番少なく、高齢化率も44.7%で県内1位の町。高度経済成長期をピークに約5,500人が住んでいた町の人口も減少の一途を辿っている。
- 最寄りの白石市の中心から約25km離れた標高300mの山間地域に位置し、宮城県183万人の水を賄う七ヶ宿ダムを有する。
- 町へ通じる一本道となる国道113号と七ヶ宿ダム周辺の風景は、藪川・外山地域の国道455号沿いと非常に重なるものがある。



国道113号沿い、10km手前の山間地に設置された店舗案内看板



七ヶ宿ダム周辺



令和6年度の活動目標



令和6年度の活動目標

令和6年度は、令和5年度から取り組んでいる次の2つを実行フェーズに移します

1) 外山神社来訪者向け「外山節」のPR

- 音源は、「外山小学校創立百周年記念」のカセット音源をデジタル化
・《唄》 正調外山節：大田サダ子さん  外山節：中舘ツヤさん 

2) 2024そばスタンプラリーの実施

- 参加予定店舗は7店舗（昨年閉店した外山森林公園の外山そばを除く）。
- 当該地域に縁のある企業「(株)グリーンパワーインベストメント」、「ジェイアールバス東北(株)盛岡支店」、「薮川郵便局」等に、協賛または後援を打診中。

継続検討

- 薮川地域の住民と来訪者の利便性向上、地域経済活性化のための生活インフラの整備（コンビニ、ミニスーパーの誘致等）は、他の自治体の事例を見て共通するのは「民間」のみならず、「行政」の積極的な関わりとリーダーシップ。産業振興課とともに薮川地域の将来のこととして考えたい。